

空間除菌剤「ウイルオフ」を大阪府へ寄贈 大木製薬株式会社・株式会社アカカベ

2021年1月6日（水曜日）、大木製薬株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 松井 秀正、以下「大木製薬」と）と、株式会社アカカベ（本社：大阪府大東市、代表取締役社長 皆川 友範、以下「アカカベ」と）は、新型コロナウイルス感染症対策として、空間除菌剤「ウイルオフ ストラップタイプ」（以下、「ウイルオフ」）を4,025セット寄贈した。



感謝状贈呈式の様子 場所:大阪府庁 正庁の間

今回の寄贈にあたり同日、両社に対しての感謝状贈呈式が大阪府庁本館「正庁の間」で行われ、大木製薬 山下 勝義 専務取締役営業本部長、アカカベ 皆川 友範 代表取締役社長へ感謝状が贈呈された。



写真左から、大木製薬株式会社 山下 勝義 専務取締役営業本部長、大阪府 佐藤 敏彦 福祉部子ども室長、株式会社アカカベ 皆川 友範 代表取締役社長

大木製薬 山下専務取締役は、「1658年創業の製薬メーカーの誇りで皆様の健康を守ることが我々の使命。新型コロナウイルス対策における大変な状況が続く中、このような社会貢献という形で、少しでも大阪府の皆様のために役立てればと思い、寄贈をさせていただきました。」と話した。

アカカベ 皆川社長は、「弊社は地域の健康な生活を支える企業という経営方針のもと、コロナ禍でも地域のお役に立てることを社を挙げて取組み、マスクや衛生用品、モバイルクリニック等の寄附を続けてきました。このような地域への取組みを大木製薬様にも共感いただき、今回の寄贈が実現しました。コロナ禍の大変な状況は続きますが、皆様と協力しながら地域の健康な生活を支えていきたいと考えています。」と話した。